

盛岡からのたより

地域を結ぶ共同体の活生化

田口良平

僕が考えている運動は、ヴォラ
ンタリズムの中で形成された運動
論みたいなのがあつて、それに現
実的具体性を結合させたものを構
想そのものは、明確な形で具体化
出来るところまでは進んでいない
ので、徐々に何らかの形でまとめ
整理していくつもりです。

ただ、全体的流れの関係から言
えば、盛岡に定着しそこにおける
運動が、東京、大阪等の中央と北
海道を結ぶ中継点(休息所?)に
なると思つておりますし、北と南
の人間がどンドン動ける場所的保
障性(いつでも誰でも宿泊可能)
を確立するつもりですし、その拠
点が東北と中央との文化の位相差
の混合的流動化を伴つて、人間
相互に活性化されるのではないか
と思ひます。現在、社会事業大学
でその準備を個人的に進めており
ます。地域活動を特殊東北の盛岡
で展開するものの底流となる文化
運動みたいなものを含みつつ、ど
れだけダイナミックに展開出来る
かは、僕自身のエネルギーだけで
なく、僕の志向しているもうが盛
岡という土地にどれだけ根ざすこ
とが出来るかにかかつているよう
な気がいたします。

僕自身が向題にしているのは、
ボランティア運動とか市民運動が
自己の存在原理と生活原理に根ざ
さない皮相的な次元で、常に体制
内的に教化、組織化されていく地
域福祉活動であり、存在理由に立

却してどれだけ反権力運動として展
開されるかということであり、
従つて在来の「社会福祉」観ないし
イメージを根本的に突きくずす作業
を、現在構想しております。さしあ
たつて、社会事業大学で、ノンセク
ト運動を自立的な個を媒介とした共
同性の模索の視卓から何かやりたい
と思つております

僕の計画は5ヶ年計画で、五年後
には予定通りいけば盛岡に印刷屋が
開店されるはずで、それまでまだ
時間的にも長いので、その間に会う
機会も作れるのではないかと思ひま
す。
現在は、自分の構想を貫徹出来る
体力を維持することと、理論学習を
することを重層的に考えてあります
出来れば運動の中で、文化的研究発
行活動もしたいと思つてあります。
今の生活といい、今後の構想とい
い、若干ヨタヨタ歩きの感もありま
すが、なんとかふん張つて貫徹した
いと考えております。今後都内の活
動家とも接点を持つて構想を練つて
ゆくつもりです。
尚、盛岡は土地柄からも農地が確
保出来る場所です。もし、農業運
動を東北でやりたい人がおりました
ら、何らかの形で連りをもちたいと
思ひます。

ライヒ研究会は
事情により休会
します
マタネ

お知らせ

第九回月刊キブツ読者会
時 10月24日 第四日旺
午後一時〜四時
所 守口市民会館

当日は「ユダヤ国家とアラ
ブゲリラ」の著者 広河隆
一代を中心に、イスラエル
建国の思想的背景を基軸に
現在にいたるパレスチナ問
題を話し合うことにします

広河隆一代
著者略歴より

一九六七年早稲田大学卒業
同年五月イスラエルに渡り
キブツで研修生として一年
半働いた。その間エルサレ
ムの大学などでイスラエルの
軍国主義的傾向に反対す
る写真展を開催した。その
後イスラエルの通信社で報
道カメラマンとして働くか
たわら、反シオニズムの社
会主義組織「マツペン」に参加
一九七〇年六月帰国

尚ユダヤ国家とアラブゲ
リラは現在日本に多く出
版されているパレスチナ問
題の研究書でも、現地視察
によるレポートもなく、その
地に身を置いた現実を基盤
として、一キブツ研修生で
あつた著者が鋭い問題意識
をもつてキブツからはみ出
し、パレスチナの問題を歴
史的に掘り起し根源から浮か
せ上らせたものである。同時
にそれはキブツの体質も自
づから明確な姿をわれわれ
に伝えてくれる。貴重な体
温の感じられる本である
必読をお奨めする。
われわれは時にキブツと
いうものを、そのよつてき
つた背景や基盤からプツ
ツリ切離して対していき
らいがないとは云えないので
はないか。
(当日会場にいくら本が持込まれます)